

除夜の鐘

さて、今年もいよいよ終わりになりますが、年の終わりの行事は各地で色々
と行われていると思います。水戸市では、以前に那珂川で花火が打ち上げられ
ていた時もありましたが、今はやってないようですね。大晦日の花火もなかな
かよかったと思うのですが、予算の関係なのでしょうか？残念です。

それにしても、大晦日と言えばやはり「除夜の鐘」でしょうか。この除夜の
鐘は、108の煩惱を除くなどとも言われており、この習慣は鎌倉時代に中国
(宋)から伝わったと言われております。

しかし梵鐘の本来の役割は、刻の鐘。朝夕に寺の法要の始まりを知らせる役
目でした。ですから、私どもの宗派（浄土真宗本願寺派）では、法要開始1
時間前に突くと決められております。朝の鐘の音が聞こえたら、寺に集まっ
て、朝の法要の開始を待つわけです。

第一浄土真宗では、煩惱を断ぜずに我が身このままで救いとして頂く（不断
煩惱得涅槃）という教えでもありますので、除夜の鐘を突くことで108の煩
悩が除かれるというのは、教えそのものと相容れないわけです。…などと大上
段に構えずとも、鐘を突くことで本当に煩惱が取り除けるのであれば、お釈迦
様が悟られるまで費やした時間はいったい何だったのだということになってし
まいます。ですから、私は、鐘の音が煩惱を消去してくれるわけでは無いと思
います。

しかし、梵鐘の音を聞いていると、それが煩惱を消し去ってくれるものでは
無いでしょうが、心がしっとりすると言うか、落ち着いた、穏やかな気分には
なります。一年の最後に、梵鐘の音を聞きながら年を越すというのも、落ち着
いた、穏やかな気分で新年を迎えられると考えれば、除夜の鐘も良いものだ
と思います。